

令和7年（2025年）度行政評価シート【個表】

令和7年6月20日

評価対象事業		評価者	学校施設課長 鈴木 康之	
教育-22	中学校施設整備事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	学校施設課
重点事業		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	学校教育	施策の方針	学校施設の管理・整備

1 事業の目的

対象	市立中学校9校
意図	中学校施設の改修等により教育環境の改善を図るため。
効果	生徒の安全・安心な教育環境を整える。

2 令和6年(2024年)度に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> 第一及び玉縄中学校のフリースペース設置に係る冷暖房設備設置等の業務を実施した。 学びの多様化学校の開校に係る、埋蔵文化財発掘調査や外構工事、校舎設置業務を実施した。

3 事業を構成する事務事業(最小事業)実績

枝番号	事務事業	実施した主な事業 (主な経費等)	指標(単位)	令和6年度		令和7年度	達成度
				指標(実績値/目標値) 事業費(決算/当初)(千円)	指標(目標値) 予算額(千円)	指標(目標値) 予算額(千円)	
01	トイレ整備事業	-	・トイレの洋式化率 ・小中学校におけるみんなのトイレ設置率	主な指標参照 / 主な指標参照 0 / 0	主な指標参照 0	主な指標参照	
02	学びの多様化学校(不登校特例)設置事業	外構工事及び工事監理、埋蔵文化財発掘調査	-	- / - 54,372 / 85,752	- 48,286	-	
03	フリースペース設置事業	小坂小学校冷暖房設備設置業務	-	- / - 1,177 / 990	- 1,809	-	
04				/			
05				/			
06				/			
07				/			
08				/			
09				/			
10				/			
		財源内訳	国県支出金	5,110 / 0	111,131		
			地方債	23,000 / 52400	100,000		
			その他特定財源	0 / 0	3,675		
			一般財源	27,439 / 34342	27,157		
			事業費の合計(千円)	55,549 / 86,742	241,963		
			人件費(千円)	8,652	2,561		

4 この事業に関わる職員数(毎年度4月1日時点)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	1.5	1.0	1.0	1.1	1.1	0.3
会計年度任用職員	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

5 評価結果

(1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、目標未達の理由	上位施策にどう寄与したか、構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	トイレ整備事業	全ての児童生徒の良好な教育環境づくりに必要な設備であるため。	全ての児童生徒が安全に安心して学校生活を送ることができる教育環境整備に寄与。	改修後、一定期間の経過したトイレの改修について、事業手法も含めた検討が必要である。
02	学びの多様化学校(不登校特例)設置事業	一過性の事業であるため。	全ての児童生徒が安全に安心して学校生活を送ることができる教育環境整備に寄与。	-
03	フリースペース設置事業	一過性の事業であるため。	全ての児童生徒が安全に安心して学校生活を送ることができる教育環境整備に寄与。	-
04	0			
05	0			
06	0			
07	0			
08	0			
09	0			
10	0			

(2) 視点別評価

効率性	事業費の削減余地はないか		1 事業費の削減余地はない
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか		1 実施済み
	関連・類似する事業の統合はできないか		3 統合できる事業はない
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか		1 市民ニーズは変わらずにある
	民間によるサービスで代替できる事業はないか		3 民間によるサービスで代替できる事業はない
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか		1 目的達成のために適切な手段(最小事業)である
公平性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入	△-2 受益者はいいるが、今後も公費により全額市が負担すべきものである
	協働	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施
			協働実施済の場合のパートナー

(3) 総合評価 ※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

【今後の方針】	<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 改善・変更	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 休止・廃止
児童の安全・安心な教育環境の改善を図るため、緊急性や優先度を考慮しながら計画的な施設整備に努めていく。					

【参考】

◎事業実施に係る主な指標

指標(単位)	小中学校におけるトイレの洋式化率						単位	%
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
全ての児童生徒の良好な教育環境づくりに必要な設備であるため	目標値	57.6	70.4	70.4	70.4	70.4	70.4	
	実績値	70.4	69.9	70.1	70.1	71.4		
	達成率	122.2%	99.3%	99.6%	99.6%	101.4%		

指標(単位)	小中学校におけるみんなのトイレ設置率						単位	%
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
全ての児童生徒の良好な教育環境づくりに必要な設備であるため	目標値	88	96	96	96	96	96	
	実績値	96	96	96	96	96		
	達成率	109.1%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		

指標(単位)	小中学校における特別支援学級の設置						単位	%
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
全ての児童生徒の良好な教育環境づくりに必要な設備であるため	目標値	80	84	88	92	96	100	
	実績値	84	88	92	96	100		
	達成率	105.0%	104.8%	104.5%	104.3%	104.2%		

◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項							
団体名	鎌倉市						
他市実績							

当該事業実施に伴う 他市比較に関する考え方	
--------------------------	--